

謹賀新年



兵庫工業会
NEWS

2023年1月1日

発行 / 公益社団法人 兵庫工業会

No.307



2023年の新年を迎えて



新年あけましておめでとうございます。
本年もよろしくお願ひいたします。

昨年を振り返りますと、長引くコロナ禍に加えて2月にロシアがウクライナに軍事侵攻し、世界情勢が一気に緊迫化しました。そのうえ急速に円安が進行し、輸入に頼らざるを得ないエネルギーや原材料・資材価格が高騰しました。中国政府の徹底したゼロコロナ政策がサプライチェーンに影響し、部品・部材が思うように入手できない事態が継続したため、生産計画の見直しを余儀なくされた、という企業も少なくありませんでした。このように、ものづくり企業経営者にとって本当に頭の痛い状況が続く一年であったと思います。

兵庫工業会も新型コロナウイルス感染症の影響を受けましたが、「ウィズコロナ」を念頭において活動を継続しました。会員交流の重要な場となる懇親会の開催で制約を受けましたが、そのほかの活動では万全な感染対策を取りながら、ほぼ計画通りに進めることができました。これもひとえに会員企業の皆様のご理解・ご協力の賜物であり、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

さて本年はどのような年になるのでしょうか？干支は癸卯(みずのと・う)で「今までの努力が実って、ウサギが飛び跳ねるように新しい事態が起こる」という意味があるそうです。その意味どおりにコロナ禍やウクライナ問題が早々に終結して、世界中の人々が制約なく自由に行動して、景気が上向き、希望に満ちた明るい年になることを心から願っています。

兵庫工業会も会員企業の皆さまに喜んで頂けるよう、しっかりと活動を進めて参ります。

本年は従来の活動に加えて「SGDsの推進」と「DXの推進」により力を入れて取り組みたいと考えております。

まずSDGsについてですが、昨年8月開催のテクノロジーフォーラム2022で「SDGsにどう向き合うか」をテーマにパネルディスカッションを行いました。世の中でSDGsという言葉自体はどんどん認知度を高めてい

ますが、いざ個々のものづくり企業が取り組むとなると「もう少し先でいいのではないか」、「どこから、どう手を付ければよいかかわからない」というのが正直なところではないか、と感じています。ものづくり企業にとって省エネルギーや原材料の節約、働き方改革など日ごろから取り組んでいる活動が実はSDGsにつながっています。まずSDGsへの理解・認識を深めて頂いて、企業の経営課題のひとつと位置づけ、日常の業務をSDGs的な目でみるとどうなるのか、というところからスタートできれば、と考えています。そして各企業が社会とつながって企業価値を高めていく、具体的にはSDGsが新しいビジネスを生み出したり、事業の持続可能性を高めたりする活動に次第に結び付けられれば、と考えます。つまり「受け身のSDGs」から「積極的に仕掛けるSDGs」への転換です。

次にDXに関しましては、デジタル技術に長けた人材育成の観点から「DXリカレント教育」に引き続き力を入れて参ります。昨年立ち上げた、「DX推進協議会」を中心に募集・選定頂いた「DXトライアル企業」を積極的に支援するなど、工業会全体での底上げを図る活動を進めていきたいと考えています。

もちろん、この2テーマ以外の従来からの活動もしっかりと進めて参ります。ものづくり企業の力の源泉であるひとつづくり（人材育成）の推進、会員同士のつながり・交流の強化、最新の技術・知識の取得、グローバルな企業活動への支援など従来以上に充実した内容を提供できるよう努めます。

そして会員各位が「自社の経営力強化に役立っている」、「本当に入会してよかった」と感じていただける兵庫工業会を目指して前進いたします。どうか引き続きましてのご支援、ご協力をお願い申し上げます。

最後になりましたが、本年が会員各位やご家族の皆さまにとりまして、幸多き一年となりますことを心からお祈りいたしております。

公益社団法人 兵庫工業会

会長 宮 脇 新 也

新年のご挨拶



副会長 村元 四郎 (グローバル化推進委員会 委員長)

新年あけましておめでとうございます。

昨年9月の日本国政府によるコロナ水際対策の緩和を受けまして、グローバル化推進事業として11月に神戸市と共催で「ベトナムビジネスミッション」を実施いたしました。参加者の声を聞いておりますと、現地ではコロナと共存する形での経済活動がますます盛んになっているようです。

一方、海外から来られる「働き手」については、神戸市における在住外国人・留学生数の登録値からミャンマーやネパールから急増しているようで、これらの国々出身者の日本企業への就職希望者も大変多いと聞いております。

外国人の方々の受け入れとなりますと、経営者としては躊躇しそうな懸念事項もまだまだあると思いますが、ITコミュニケーションツールなどを駆使した業務の円滑化など取り組み、企業における多文化共生への理解を深めていただくことで、企業の継続的発展に繋げていただければと思います。

兵庫工業会でも、現役留学生や日本企業に就職した留学生との交流の機会等を設けていきたいと考えておりますので、ご参加いただくことで留学生の採用や労務管理面でご参考になれば幸いです。

皆様のこの一年のご健勝を祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。



副会長 金井 宏彰 (産業・技術振興委員会 委員長)

新年、あけましておめでとうございます。

VUCA（ブーカ：予想がしにくい状況）の時代に突入し、先行きが全く予測できない時代になりました。

コロナパンデミック以降、ウクライナ対ロシア問題を発端に米中・中台・北朝鮮など地政学的リスクによりグローバルバランスは崩壊し、世界は（地球は）これまでの比較的安定秩序を維持しながらの持続可能な成長から地殻変動を起こし、次世代の新たな安定秩序（ソリューション）を模索しています。

足下、我々を取り巻く厳しい環境は、これまでと違い自助努力だけで解決できない課題（地政学サプライチェーン崩壊・為替・供給制約・物価高・人手不足など）も多く、工業会挙げて新しい施策や知恵を構築・活用していく必要があります。

工業会の活動もやっと昨年から、今までと異なるコロナ下でのスタイルへと変化させながら動き出しましたが、近々のDX・GX・SX・SDGs・働き方改革・人手不足など課題も山積しています。本年度は本格的活動を復活させ、新たな秩序と持続的発展に向け少しでも会員の皆様にお役に立てるように活動して参ります。安全・安心な海外視察も再開したいですね。



副会長 竹田 佑一 (人材育成委員会 委員長)

新年明けましておめでとうございます。昨年こそワクチン接種が進み、新型コロナウイルスの感染が治まるものと思われたのですが、なかなか簡単には行きませんでした。その為、人材育成委員会の事業もかなり影響を受けてしまいました。

現在、色々な原因が考えられますが、依然として人手不足が続いています。そして、労働力不足を補う為にも生産性の向上が求められています。つまり、企業のレベルを上げるには、人材育成が絶対必要になるはずで、特に若い方に対する教育が重要だと思っています。

I T技術を使ってDXの推進も勿論大切なのですが、まずは基本的技術の習得や正しい考え方を身につけることが求められています。

我々人材育成委員会としては、各社のお役に立てるよう、今年も教育・研修を中心に各種事業を行っていくつもりです。

今年こそ、沢山の方に研修に御参加頂き、期待される人材が育成されることを願っています。今年もご支援よろしくお願ひ申し上げます。



副会長 **神門 登** (会員交流委員会 委員長)

新年明けましておめでとうございます。

日本の製造業を取り巻く環境は大きく変化しました。新型コロナウイルス感染拡大により調達・生産・物流・販売の連鎖が壊れ、原材料の価格高騰や調達困難等に直面しています。また災害や気候変動、技術革新、政治・国際的な問題などの不確実性も増大しています。さらに労働人口不足と人件費の高騰による経営の悪化等問題が山積みです。

時代の変化を捉え、企業経営に結びつけるためには社会情勢や競合の状況、新技術の動向などの「情報」が大切です。会員交流委員会では会員の企業経営者や幹部の方々に有用な情報を適切なタイミングで提供すべく様々な会員交流事業を展開しています。特にリアルな人対人の交流を重視し、兵庫県下の各地域の企業、行政、さらに他府県の企業との特徴ある交流機会を提供しています。是非ともご利用下さい。

最後になりますが、本年も引き続き会員皆様方のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。皆様のご健勝を祈念し、新年の挨拶とさせていただきます。



副会長 **吉井 満隆**

新年あけましておめでとうございます。

2022年は、3年に及ぶコロナ禍が収束しない中、10月には観光需要喚起策として全国旅行支援が始まり、また、訪日外国人観光客の入国制限も緩和されました。

2023年は、いよいよポストコロナに向けて感染防止対策を取りながらも経済活動や日常生活の回復に軸足を移す転換期を迎えるものと思います。

昨年8月に開催されましたテクノフォーラムでは、「今、SDGsにどう向き合うべきか」というテーマで議論がなされました。私は副会長に就任後「SDGs普及検討会」の座長を拝命し、ポストコロナ時代のビジネスチャンスであるSDGsを会員の皆様にご理解いただき、普及を本格化していく後押しを担当しております。SDGsの実現は県政においても重点を置いている施策の一つであり、2030年のゴールに向けて、会員の皆様とともに新たなビジネスモデルを探索して行きたいと考えております。

この一年の皆様のご健勝を祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。

第3回理事会のご案内

公益社団法人 兵庫工業会 第3回理事会を、以下の要領にて開催いたしますので、ご案内申し上げます。

- ☆開催日 2023年3月23日(木)
- ☆開催場所 ホテルオークラ神戸 1F 平安
神戸市中央区波止場町2-1
- 1. 理事会 15:00～16:00
- 2. 講演会 16:00～17:00
- 3. 交流会 17:00～19:00 3F 有明

詳細は、別途ご案内させていただきます。

躍動する兵庫、 新時代への挑戦



新年あけましておめでとうございます。

新型コロナウイルス感染症が広がりを見せてから3年が経過しました。これまでの経験と教訓を活かしながら、感染防止対策と社会経済活動を両立させるウィズコロナの時代に入ったと言えるでしょう。一方、混迷するウクライナ情勢等を背景にした物価高騰や円安が、私たちの暮らしに大きな影響を及ぼしています。

こうした変化の大きな時代だからこそ、受身になることなく、新たな挑戦を起こすことが大切ではないでしょうか。令和5年は「躍動する兵庫」の実現に向け、果敢にチャレンジする年にしたいと思います。

その一つは、新たな産業活力の創出です。中小企業やスタートアップが持っている既存の技術と地域課題とのマッチングを広げ、新たなイノベーションを生み出します。また、水素エネルギーの利活用や中小企業のCO₂排出量削減の支援強化など、脱炭素社会に向けた取組を加速させます。ドローンや空飛ぶクルマなどの次世代モビリティの社会実装にも挑みます。

また、兵庫が関西と瀬戸内の結節点にあるという好立地を活かし、両エリアをつなぐ大交流圏の形成をめざします。大阪・関西万博が開催される2025年には、瀬戸内国際芸術祭も開催される予定です。県内各地をパビリオンに見立てて誘客する「フィールドパビリオン」を核に、関西圏域とは万博に関連した連携事業を、瀬戸内圏域とは芸術・文化等をテーマにした連携事業を行えるよう、着実に準備を進めていきます。

若者の学びの場も充実させます。県立高校等において、魅力・特色あるカリキュラムの充実やICT化を進めることに加え、生徒ファーストの視点で、老朽化が進む学校の施設・設備や部活動の用具・備品等を改善します。中高生からのアントレプレナーシップ（起業家精神）教育も推進し、課題解決に主体的に取り組む力を伸ばします。

県政の推進にあたって、今年ももっとも大切にする姿勢は、現場主義の徹底と対話の重視です。私自身、引き続き積極的に県内各地域に足を運び、医療や交通、観光、教育など様々な課題について県民の皆さまと対話をし、施策につなげていきます。

皆さまのご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

兵庫県知事

齋藤元彦

新年に寄せて



新しい年を迎えるにあたり謹んでご挨拶を申し上げます。

昨年はロシアによるウクライナ侵攻が始まり、世界中に大きな衝撃を与えました。この侵攻により、多くの命が失われていることに、強い憤りを感じるとともに、神戸市は被害に遭われたみなさまの苦しみ、悲しみに心を寄せてきました。国際情勢も緊迫する状況が続いていますが、一日も早く平和を取り戻し、安寧な日々が訪れることを心よりお祈り申し上げます。

また、新型コロナウイルス感染症の出現から、3年が経過しようとしていますが、いまだに感染拡大の波が繰り返され、予断の許されない状況が続いています。医療従事者のみなさまの献身的なご尽力をはじめ、多くの方々のご協力をいただき、この危機を乗り越えてきました。引き続き、市民の命と健康を守り、神戸経済を回復させることに全力で取り組んでいきます。

神戸の街並みは見違えるように変わり始めています。都心・三宮再整備やウォーターフロント再開発が大きく進み、まちの顔である「駅前空間」のリノベーションも着実に進んできています。また、緑豊かな六甲山や里山・農村、美しい瀬戸内海など、神戸の自然の魅力を一層高める取り組みも行っています。みなさまには神戸の変わりゆく姿をぜひ楽しみにしていただきたいと思えます。

そして、長年の念願であった神戸空港が国際化に向けて動き出し、神戸市はこれから国際都市として新たな段階に入ります。国際定期航路を持つ神戸港に加え、新たに神戸空港が国際空港となることで、今までに増して海外に開かれたまちになります。これは神戸市が目指す、国内外に貢献し、市民が誇りを持てる『海と山が育むグローバル貢献都市』の姿に近づく大きな一歩となります。

同時に、市民のみなさまが、安心・安全な生活がおくれるよう、子育て・教育支援、健康・福祉の増進や災害に強いまちづくりを進めるとともに、持続可能なまちの実現に向けて、「水素スマートシティ」や「こうべ再生リン」など新たな取り組みを推し進めていきます。

また兵庫工業会におかれましては、地域の産業を支え、雇用の受け皿として重要な役割を果たしておられますことに、深く敬意を表します。これからも皆様と力をあわせ、地域経済の発展を目指してまいりたいと存じますので、引き続きお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

末筆ではありますが、本年がみなさまにとって、素晴らしい一年となりますことをお祈りいたします。

神戸市長 久元 喜造

年 新 賀 謹

会 副	長 会 長	宮 村	脇 元	新 四	也 郎	理 事	眞 井	下 上	忠 也
〃	〃	金 井	元 井	四 宏	郎 彰	〃	井 井	上 川	直 也
〃	〃	竹 田	井 田	宏 佑	一 登	〃	番 石	所 田	利 行
〃	〃	神 門	田 門	佑 登	隆 要	〃	中 近	川 藤	和 啓
専 務 理 事	専 務 理 事	宮 本	井 本	滿 俊	光 一	〃	斎 瀧	川 田	英 松
常 務 理 事	常 務 理 事	荒 安	木 原	俊 浩	章 二	〃	山 上	村 川	圭 勝
〃	〃	安 牛	原 达	智 伸	剛 代	〃	中 安	藤 光	裕 隆
〃	〃	牛 千	达 田	伸 剛	一 琢	〃	伴 豊	嶋 宅	博 富
〃	〃	阿 比	野 上	美 智	郎 夫	〃	三 瀬	宅 川	里 志
〃	〃	井 大	庫 島	良 孝	保 和	〃	阿 宮	倉 内	和 康
〃	〃	大 東	島 村	孝 武	修 聡	〃	上 降	村 矢	貴 寿
〃	〃	大 苗	村 田	武 勝	彦 伸	〃	友 市	藤 田	公 邦
〃	〃	岡 岡	田 村	勝 勝	子 裕	〃	河 清	上 水	哲 稔
〃	〃	吉 陰	山 橋	悦 雅	樹 一	〃	新 倉	山 本	正 信
〃	〃	高 細	川 元	悦 雅	要 郎	〃	三 宮	津 脇	千 久
〃	〃	久 木	元 木	真 重	司 司	〃	下 土	井 本	隆 一
〃	〃	佐 々	木 安	真 重	司 司	〃	山 福	田 嶋	健 博
〃	〃	頃 畠	安 田	真 重	樹 大	〃	福 藤	嶋 田	純 洋
〃	〃	小 上	谷 月	安 重	隆 人	〃	吉 田	洋 二	郎 二
〃	〃	楠 小	山 池	泰 淳	司 樹	監 事			
〃	〃	久 黒	保 田	和 直	樹 大	〃			
〃	〃	平 小	松 野	慶 泰	隆 人	〃			
〃	〃	清 水	水 泰	泰 人	人 泰	〃			

兵庫工業会

2022年度「会員交流懇親会 忘年パーティー」

2022年は長びくコロナ禍の影響が未だに残るものの、“ウィズコロナ”・“アフターコロナ”に向け、社会経済活動が再開しました。とは言え、ロシア・ウクライナ問題や中国のゼロコロナ政策、またこれに端を発したエネルギー価格の高騰やサプライチェーンの混乱、さらに円安、人手不足など、製造業にとっては新たな課題も山積しています。

しかしながら各企業は独自の取り組みや技術に磨きをかけ、働き方改革を推し進めることでこれらの課題解決に取り組み、生産性の向上に挑んでいます。

地元兵庫県の製造業を中心とした経済状況はコロナ禍にあっても、早い段階から回復の兆しを見せ、現在もこの基調を維持しています。県内企業や経済団体、自治体や大学、金融機関など、産・官・学・金の連携した取り組みが、これを下支えしていると言えるでしょう。

兵庫工業会では兵庫県の産業・技術振興を目的とした多様な事業を展開し、中堅・中小企業の成長・発展に繋がる取り組みを推し進めています。特に会員企業の交流促進には力を注ぎ、その重要な活動として「会員交流懇親会 忘年パーティー」が位置づけられています。

今回の忘年パーティーには兵庫工業会に関わる114名が集まり、日頃の仕事のストレスを忘れて交流・懇親を深めました。

忘年パーティー



宮脇会長挨拶

「2022 FIFAワールドカップ」大会予選において、日本代表が強豪ドイツ代表とスペイン代表を破り、決勝トーナメント進出を決めた12月2日、兵庫工業会は神戸ポートピアホテルにて2022年度の「会員交流懇親会 忘年パーティー」を開催しました。コロナ禍の影響により2020年度から中止となっていたため、実に3年ぶりの開催でした。開催に際し手指の消毒や検温、マスク着用など感染予防対策を徹底し、例年より規模を縮小して実施しました。

3年ぶりの開催ということで、参加した会員企業の皆さんは一律に、「待ちに待ってました」といった期待に溢れる明るい表情を浮かべていました。17時にスタートした会員交流懇親会では冒頭、兵庫工業会の宮脇新也会長が挨拶。「2023年はうさぎ年。うさぎのようにピョンピョンと飛躍する年になればと思っています。来年度は当会もSDGsとDXをキーワードに、しっかり取り組んでいきたい」と述べました。

宮脇会長の挨拶に続き、来賓代表の挨拶として、兵庫県の片山安孝副知事が「県政の展開についてもSDGsとDXを基本にしている。最も心配していることは、物価の高騰。政府の経済対策を受けて兵庫県庁も12月補正予算で過去最大を計上した。スピード感を持って様々な施策を打ち出している。兵庫県全体に春が来る事を期待している」と述べました。



片山副知事挨拶

新会員紹介、鏡開き

兵庫工業会には2022年度、新会員として3社が入会しました。そのうち今回の会員交流懇親会には水産加工食品製造の「合食」の篠原利和さん、レコード針を中心とした製造・販売を手がける「日本精機宝石工業」の仲川和志さんが参加しました。新会員の紹介で篠原さんは「水産資源の不漁に伴う価格高騰など近年、非常に厳しい経営環境が続いているが、国内外の販売強化を進めていきたいと考えているので、皆様のご指導を是非、賜りたいと思っています」と挨拶。仲川さんは「新入会員ということで、フレッシュな気持ちで工業会活動に参加したいと思っています」と述べました。

新入会員紹介の後はいよいよ鏡開きです。鏡開きには兵庫県の片山副知事、兵庫工業会の宮脇会長・金井副会長・竹田副会長・神門副会長・吉井副会長が登壇しました。会員企業であるヤエガキ酒造さんから提供いただいた鏡開き用のお酒に向かい、「せいのに！」・「ヨイショ！」の掛け声とともに小槌で鏡を開きました。その後の乾杯のお酒もヤエガキ酒造さんから提供いただいたもので、乾杯の発声は神門副会長が音頭を取りました。



(株)合食 篠原 利和さん



日本精機宝石工業(株) 仲川 和志さん



鏡開きの様子

福引大会

乾杯後、暫くの歓談の後は、待ちに待った福引大会です。今回は規模を縮小して開催したため、例年に比べて景品が少なかったものの、その分、高価なものが並びました。抽選番号札を握る参加者の皆さんの手は力が入り、汗ばんでいたことでしょう。

会員企業賞のトップバッターは、川崎重工業さんから寄贈いただいた「カワサキウエストバッグ」、「カワサキプルオーバーパーカー」、「カワサキスタッフウォーマーブルゾン」各1点の計3点です。くじを引いて商品を渡すのは、同社の細川勝伸さんです。くじ引きの結果、カワサキウエストバッグはクリエイションの内海政嘉さん、カワサキプルオーバーパーカーは菱井商事の豊嶋義富さん、カワサキスタッフウォーマーブルゾンは大和ハウス工業神戸支社の斎藤英男さんがそれぞれ見事に当選しました。会員企業賞の2番目は「シャトーメルシャン 椀子（マリコ）メルロー2018」2本です。同じく、くじを引いて商品を渡すのは、キリンビバレッジ近畿圏支社神戸営業部の長谷川悦一さんです。まず一人目の当選者は、TC神鋼不動産法人事業部

CRE営業部の藤本開さん、続いて2人目は山名總鉄酸素の山名隆嗣さんです。おめでとうございました。

続いて会員企業賞の3番目は「八重垣純米大吟醸 黒乃無（くろのむ）」2本です。賞品を渡すのは、ヤエガキ酒造の内海寛明さんです。一人目の当選者はパスコの清水雅也さん、2人目はまねき食品の竹田佑一さんでした。

会員企業賞としては他にも琵琶湖グランドホテルのペア宿泊招待券や、神戸ポート

ピアホテルのペア宿泊券、ホテルオークラ神戸のペアお食事券、またカタログギフトなど豪華な賞品がズラリと並び、参加者の方々は期待に目を輝かせていました。

会員企業賞の次は兵庫工業会賞です。賞品は副会長賞6本と、会長賞1本の計7本です。

副会長賞6本の発表の後、最後となる会長賞・神戸ポートピアホテルの「おせち料理セット（目録）」をみごと引き当てたのは、フルヤ工業の降矢寿民さんです。降矢さんは「今日、この会場には一番乗りして、3番か7番の抽選番号どちらを取ろうかと悩んだが、ラッキーセブンの7番を選んだ。これが大正解だった」と大喜び。パーティー会場は大盛り上がりでした。

「以上で福引大会は終了です！」と言いたいところですが、今回は特別に神戸製鋼所さんより『コベルコ神戸スティーラーズ関連グッズ』5点をご提供いただきました。これが皆さんへの今年最後のサプライズプレゼントにしたいと思います」という司会者の掛け声で、パーティー会場は再び大盛り上がり。当選された皆さん、本当におめでとうございました。



会長賞贈呈



中締めの様子

歓談は尽きないところでしたが、以上で中締めとなりました。兵庫工業会で会員交流委員会を担う上月副委員長が「今回はさまざまな事情により、規模を縮小しての開催となりましたが、皆さん、喜んでいただけましたか？新会員の方々も本日のように、今後も兵庫工業会の活動に積極的にご参加いただければ幸いです」と中締めの挨拶。3本締めを行い、2022年度の会員交流懇親会は盛況裏に終了となりました。

兵庫工業会中播磨地域交流会開催

兵庫工業会は、地域の要望を踏まえたきめ細かい事業運営を行うために、今回、中播磨地域の会員の皆様にお集まりいただき「中播磨地域交流会」を開催し、ご意見をお聞きしました。

以下、開催内容を記します。

(1)開催日 2022年12月13日(火)

(2)開催場所

- ・企業見学会：佐藤精機株
たつのテクニカルセンター
- ・意見交換会：ホテル日航姫路

(3)参加者

- ・中播磨地域企業から 16名
- ・その他地域企業から 5名
- ・会員交流委員会委員 3名
- ・兵庫県3名、中播磨県民センター2名
- ・兵庫工業会 宮脇会長・竹田副会長、神門副会長 他事務局を含め、計38名の方々にご参加いただきました。



佐藤精機株での企業説明

(4)企業見学

佐藤精機株様のたつのテクニカルセンターにて、最先端の機械加工機や高精度の検査装置等を見学しました。JAXA（宇宙航空研究開発機構）やNASAからも超高精度加工品を依頼されるなど、国内外の大手企業から加工依頼を受けている企業です。見学された皆様は、その技術力の高さに非常に感銘されていました。

(5)意見交換会

コロナ感染対策を徹底し、意見交換会を行いました。会員交流委員会の中川委員の司会のもと、以下のことが話題になりました。

- ・産業集積している中播磨地域にて、工業会には年に何回かイベントを開催してほしい。
- ・企業のサイバーセキュリティーが問題になってきており、それに関わる勉強会を工業会で開催してほしい。
- ・工業会の経営研究会に参加しているが、中小企業における経営の問題の理解が深まり、多くの会員に参加をすすめたい。
- ・円安などのため、ベトナム等海外からの実習生が日本に来なくなりつつある状況について行政に対応してほしい。
- ・運輸業界はエネルギーコスト高の影響を受けて大変な状況。工業会には電気・水素自動車や自動運転の等先進技術を知る場を提供してほしい。
- ・輸出に関し、コンテナの確保が難しい状況になっていて納期遅れを生じる場合があり、行政の支援をお願いしたい。

<行政：兵庫県より>

- ・兵庫県が力を入れている産業施策のDXリカレント研修は是非とも活用してほしい。

意見交換会に引き続き交流懇親会を行い、兵庫県下の他の地域同様に人手不足や材料不足などの問題に加え、セキュリティの確保や先進技術を知る機会作りなど多様なご意見が出され、地域の会員の皆様と大変有意義な交流の場となりました。

今回ご参加いただきました皆様には、この場をお借りして御礼申し上げます。

2023年度につきましては、「阪神南北地域」、「東播磨地域」にて地域交流会を予定しています。

是非とも多くの会員の皆様にご参加いただき、忌憚のないご意見を賜りますよう、お待ちしております。



意見交換会の様子

令和4年度職域における創意工夫者表彰 表彰式

現場の改善活動などに貢献された方々を顕彰する「職域における創意工夫者表彰式」を12月14日(水)、兵庫県公館にて開催し、兵庫県知事賞80名、兵庫県工業会会長賞89名の方々が受賞されました。

当日は寒波が襲来し神戸でも今冬一番の寒さとなりましたが、列席者の皆様に全員マスク着用いただくなどご協力を賜り、コロナ感染症対策を万全としたうえで、今年も開催することができました。

厳かな雰囲気の中、それぞれ代表の方に兵庫県 片山副知事、宮協会長より賞状と記念品が手渡されました。受賞者の皆様、おめでとうございます。



代表受賞者への会長賞授与



兵庫県副知事挨拶

【DXリカレント研修】のご案内 ～兵庫県中小企業DX人材育成リカレント教育事業～



DX（デジタルトランスフォーメーション）の注目度が高まる中、そもそもDXとは何なのか？

本研修では、兵庫県立大学制作の『DX人材育成リカレント教育』プログラムを活用し、基礎知識を学び、活用方法などを事例紹介も交えて、初めてこの分野を学ぶ方にも基礎を体系的に学んでいただけるようになっています。Web（vimeo）形式で、いつでも・どこでも・何度でも学べます。

この機会にぜひDXへの第一歩を踏み出しましょう！

〈DX入門〉

1. 経営者向け入門1 <60分>
2. 経営者向け入門2 <60分>
3. 技術者向け入門1 <60分>
4. 技術者向け入門2 <60分>

〈DXにおけるAI活用〉

1. AIセミナー<170分>
2. ハンズオンセミナー<305分>
3. 課題演習<80分>



申込締め切り日 2023年3月10日

ベトナムビジネスミッション

11月7日(月)～12日(土)中小企業海外展開支援事業として「ベトナムビジネスミッション」を神戸市海外ビジネスセンターと共催実施いたしました。

- 目的：ベトナムへの進出・販路開拓と人材獲得の機会を探る
 - ・ベトナムへ進出した日系企業や工業団地を視察し、現地のビジネス環境を知る
 - ・ハナム省の現地政府（人民委員会）を訪問し、現地での事業展開に関わる情報収集をはかる
 - ・ダナン工科大学や職業訓練学校を訪問し、将来のベトナム人材獲得のための情報を得る
- 参加者数：19名
- スケジュール概要

11/7(月)	関西国際空港から空路ハノイへ、市内視察後、結団式	【ハノイ泊】
11/8(火)	ハノイ郊外のハンシップ工業団地（株）オオナガ訪問 タムチュック視察 ハナム省人民委員会訪問 職業訓練短期大学訪問、 ドンバンⅢ工業団地内（株）神戸製鋼所（建設中）視察 タイハー工業団地視察、ハナム省州知事主催歓迎会	【ハナム省フリー泊】
11/9(水)	ハイフォンに移動、チャンズエ工業団地内 明興産業(株) 訪問 （株）兵庫精密工業所 訪問、ディープシー工業団地内 IHIインフラストラクチャアジア 訪問 ハノイに移動後、ホテル内で日系企業交流会 開催	【ハノイ泊】
11/10(木)	ハノイ市内 マリタイムバンク・JETRO・JICAハノイ事務所訪問 空路ダナンへ移動	【ダナン泊】
11/11(金)	ダナン工科大学 訪問、ダナン市内視察 解団式 空路ホーチミンへ	
11/12(土)	ホーチミンから空路関西国際空港へ 早朝到着後解散	

ベトナムビジネスミッションに参加して【感想】

ベトナム政府は2021年10月に大きな政策転換を行い、ゼロコロナからウィズコロナに舵を切った。（大規模なロックダウンをやめ、ワクチン接種を加速させた。）そのため市中ではマスクをしている人はほとんど見かけずコロナ禍が見かけ上過去のものになっている。（道路に溢れるバイクに乗る人は例外で、排気ガス対策で全員がしっかりマスクをしている。）

2020、2021年度の年間GDP成長率がプラスを維持できたという実績もあり、面会した同国の政治家、行政官、企業経営者は自信に満ちた表情であった。彼らの口からはコロナの話題は出ず、「経済をどんどん前に進めたい。」との発言ばかりであったことが大変印象的であった。また「積極的に外資を呼び込みたい」との姿勢が、前回のベトナムミッション（3年前）時とさほど変わっていないことも印象的であった。エネルギーや原材料価格の大幅な高騰など足もとでは企業経営には難しい情勢が続くが、中長期的観点から国づくりを考えていることがよく分かった。

激動する国際情勢や為替相場などの不安定要因が、今後の日越両国の経済関係に影響を与えていくことは間違いないが、交流の窓口をしっかりと建てつけ、積極的に交流促進を仕掛ける今回の神戸市ミッションは誠に有意義であった。今後ともこの取組みが活発化することを期待したい。

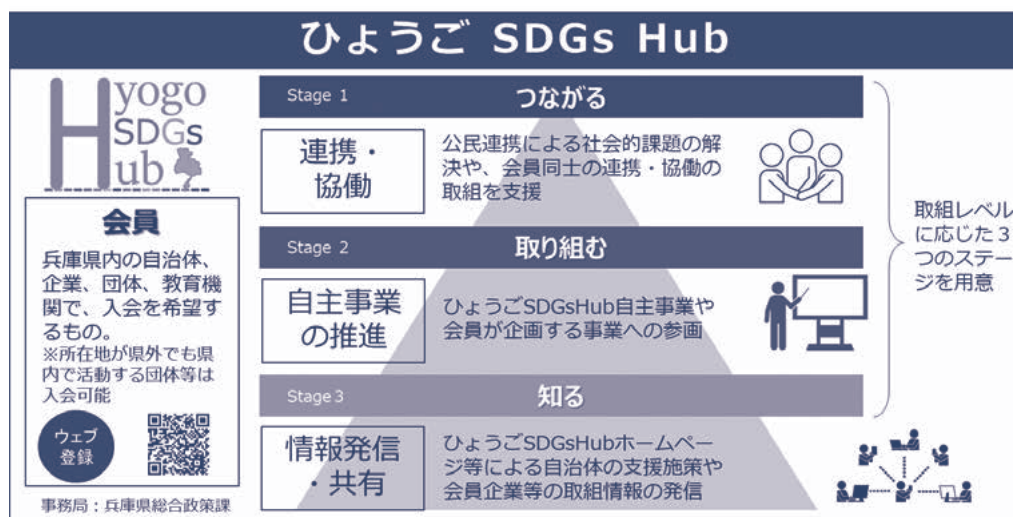
〔文責：兵庫工業会 会長 宮脇 新也〕



ハナム省人民委員会訪問

「ひょうごSDGs Hub」 会員の募集

兵庫県では、SDGs（Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標）の本質を、「現役世代から将来世代へ、よりよい兵庫をつなげていく」と考えています。その実現には、様々なステークホルダーの連携・協働が欠かせません。公民連携で、社会課題の解決と地域経済の発展の両立を実現し、“HYOGO”のブランド価値を高めていくことが、兵庫県の目指すSDGsです。このため、多様な主体が連携・協働する公民連携組織として、「ひょうごSDGs Hub」を設立しました。関心のある企業等の皆様、是非会員に登録いただき、皆様のSDGsに関わる取組を発信してください。ご登録をお待ちしております。



■「ひょうごSDGs Hub」の主な取組

- ①「ひょうごSDGs Hub」ホームページにおいて会員企業等の取組等の発信、自治体のSDGs施策等の情報発信
- ②SDGsの理解・取組促進のためのイベント等の開催や、会員が企画するイベント等の発信
- ③社会課題解決等に向けた公民連携の促進や、課題を持つ会員と解決策等を有する会員とのマッチング



ひょうごSDGsシンポジウム（10/24）



SDGs公民共創プロジェクトキックオフミーティング（11/24）

SDGs 公民共創 PROJECT

◆SDGs公民共創プロジェクトの始動

県内でのSDGsの取組が更に進むよう、企業と県がそれぞれのリソースを持ち寄り、共につくり、育てる「SDGs共創事業」を進めます。

特に優先的に取り組む「SDGs共創重点テーマ」を設定し、企業や経済団体等から企画提案を受けながら事業実施をめざしていきます。

■会員申込：以下のアドレスまたはQRコードからアクセス（随時受付）

<https://www.e-hyogo.elg-front.jp/hyogo/uketsuke/form.do?id=1661244405215>

【お問い合わせ】

兵庫県 企画部 総合企画局 総合政策課 SDGs推進班 担当：近澤、福永

TEL：078-341-7711（内線2154、2239）

Email：sdgs@pref.hyogo.lg.jp



アンカー神戸のご利用のご案内

新規事業、協業、マッチング…、神戸に新イノベーション拠点 ビジネス交流拠点アンカー神戸、お得な兵庫工業会特典も

企業間交流によるイノベーション創出や事業成長を目指す会員制施設「アンカー神戸」が、阪急神戸三宮駅直結のビルにオープンして約1年8カ月が経過しました。会員増加に伴いコミュニティも拡大し、協業や新規事業開発など、「交流」から成果が続々と生まれています。

アンカー神戸は、神戸市が開設し、神戸新聞社とトーマツの共同事業体が運営しています。15階のワンフロア約600平方メートルを使用し、打合せゾーン、イベントスペース、会議室を備えています。イノベーションには多様性が必要とされているため、会員は地元のものづくり企業、大手企業、スタートアップ・ベンチャー、大学、自治体、学生、フリーランスと多様な構成です。2022年12月1日現在で218会員（法人会員133、個人会員85）に会合いただいております、想定を上回るスピードで増えています。

運営側は交流を育くむための仕掛けづくりに心を砕いています。この企業とあの企業をつなげばこんな成果が出そう、と事前に想定し、会員らをつなぎます。この「仮説を持ったつなぎ」がマッチングに確実性を持たせます。また、イベントも多数企画しており、普段のビジネスの場では知り合うことができない人たちと出会うことができます。思いがけぬ幸運を手にする「セレンディピティ」があります。必然と偶然、2つの出会いでビジネスは多角的に成長します。

会員の具体的な成果として以下に5つ示します。

まずは①「協業」。イベントや運営側マッチングなどにより協業先候補と出会えます。アンカー内で知合い、共同開発や他社の技術を生かした製品開発などの協業に結び付いたケースがあります。川崎重工業、神姫バスなど大手企業などをホスト企業に、同社と協業したいスタートアップ・ベンチャーからの提案を募集し発表するイベントも開催しており、実際にコラボレーションが生まれています。②「事業磨き上げ・成長」では、トーマツのコンサルタントが個別指導する「トーマツブートキャンプ」や、メンター（助言者）伴走の下、半年間かけて新規事業開発などに取り組む「課題解決プロジェクト」で会員をサポートしています。ブートキャンプでは、支援企業が資金調達に成功し、課題解決では、市内の大手ホテルが関西初のサービスのリリースにつなげるなどしました。ともに会員なら無料で参加できます。③「新規事業立ち上げ」は、現在、多くの会社が課題に感じているのではないのでしょうか。新規事業を生み出したいが自社だけでは経験もなく、良いアイデアが出ず、なかなか進まないという声がよく聞かれます。アンカーにもそんな企業が多数活動しています。ほかの企業と悩みを共有しながらハードルを越えることができます。メンターら専門家からアドバイスを受け、アイデア出し、事業の構築に取り組むこともできます。社内だけでは進まなかった新規事業が、アンカーでは加速しているのです。神戸新聞社が運営する強みとして④「情報発信」があります。私たちはニュースの専門家です。世の中には、少し角度を変えたり、スパイスを加えたりするだけでニュースになることが多くありますので、ニュースになるためのアドバイスをを行います。また、日本経済新聞、朝日新聞の記者らも出入りしているので、直接話ができる機会もあります。これら4つに加え、⑤「採用」があります。良い人材の採用は、ビジネス成長を将来的に導くことにもつながります。アンカーには、意識の高い学生会員も40人ほど活動しています。優秀な学生や若者たちと知り合う機会につなげていただければ、と思います。

兵庫工業会会員企業様の特典としてコワーキングスペース（ミーティングルームを除く）が利用できます。ご利用は1回につき3人が2時間まで。ただし、1,000円／1人の負担をお願い致します。2時間を超える場合はご利用者様のご負担となります。

他社との「共創」やオープンイノベーションが叫ばれる中、アンカー神戸でぜひ、企業間交流によるビジネス成長を目指していただければ幸いです。ご入会、ご見学など、お気軽にお申し付けください。（TEL：078-325-1414）

（文責：アンカー神戸ゼネラルマネジャー、神戸新聞社 神戸新聞地域総研 地域連携部 次長 篠原佳也）



マッチングイベントでホスト役の川崎重工業に対し協業提案を行うスタートアップ・ベンチャー
(2022年11月22日アンカー神戸にて開催)



兵庫県知事や県内経済団体の代表らが参加したSDGs公民共創プロジェクトキックオフミーティング
(2022年11月24日アンカー神戸にて開催)

採用イノベーションスクール

人材確保に悩んでいませんか？

今、企業に求められる「採用力」を学びましょう！

「説明会に求職者が集まらない」「自社の良さが求職者に伝わらない」

「U・I・Jターンで人材確保したいけど、何を伝えればいいかわからない」

「求職者の気持ちを自社に向けることができない」

こんな悩みのある人事担当者は、ぜひ受講してください。申し込み、お待ちしております。

<北播磨>

開催日 2023年2月20日⇒2月21日（全2回）

会場 加西市民会館 2F視聴覚室

定員 12社（要事前申込）

参加費 5,000円/社

【お問合先】神戸事務所 [担当：石橋] TEL：078-361-5667

会員動向

代表登録者変更				
企業名	登録者	新役職名	旧役職名	変更月
兵神機械工業(株)	友藤 公雄	代表取締役会長	代表取締役社長	2022年12月

イベント情報

月日	事業名・内容	場所
2月15日(水)	合同委員会	有馬温泉 元湯 古泉閣
2月20日(月)～21日(火)	採用イノベーションスクール in 北播磨	加西市民会館
3月9日(木)	ものづくり分野における女性活躍促進オンラインセミナー	オンラインセミナー
3月23日(木)	第3回理事会	ホテルオークラ神戸
5月30日(火)	第64回通常総会	神戸ポートピアホテル

ご入会・セミナー・講演会・研修などのお問合せ・お申込みは…



公益社団法人 兵庫工業会

本部
神戸事務所 〒650-0011 兵庫県神戸市中央区下山手通6丁目3番28号 兵庫県中央労働センター3階
TEL 078(361)5667 / FAX 078(371)4336
Eメールアドレス mail@hyogo-ia.or.jp
URL http://www.hyogo-ia.or.jp

姫路事務所 〒670-0962 姫路市南駅前町123 じばさんびる3階
TEL 079(223)8230 / FAX 079(223)8231